

GIF準拠ルール

2024/7/22

デジタル基盤センター データT

GIF準拠の課題

データモデルの機能

GIFのデータモデル準拠のルール

- ◆ GIF準拠と言っても、何を満たせば準拠なのか分からない。
 - 目的
 - GIF準拠の目的は、相互運用性の確保のため。
 - 対象
 - データをやり取りする際のデータの定義（＝インターフェース定義）であるデータモデルを対象とする。

- ◆ GIFのデータモデルは参照モデルのため、どのレベル感を準拠とするか整理&明文化が必要。
 - データモデルの一般論（参照モデルの事ではない）
 - データモデル準拠は、データモデルの定義をすべて守っている事。
 - データモデルの定義の確認（技術的視点）
 - スキーマ（≡データモデルの定義の設定ファイル）を利用したスキーマ検証で最低限確認することが可能。
 - すべてのデータモデルの定義を確認するためには、スキーマだけでは困難。目視確認もしくはツールでの確認が必要。

GIF準拠の課題

データモデルの機能

GIFのデータモデル準拠のルール

GIFのデータモデルの主な機能

- ◆ GIFのデータモデルの主な機能は、データ構造とデータ形式。
 - データ構造
 - 複数の項目の関係（まとまり）
【細分化】 → 項目のまとまり + まとまりの階層構造位置情報
 - データ形式
 - 1つの項目（単項目）の形式

GIFのデータモデルの機能整理

- ◆ GIFのデータモデルの機能は3パターンに分けられる。

- パターン1

- 形式（コアデータパーツのみ）

- パターン2

- 項目のまとまり＋形式（コアデータパーツ含）

- パターン3

- 項目のまとまり＋まとまりの階層構造位置情報＋形式

技術的なスキーマの情報

* コアデータパーツ：日付時刻・住所・郵便番号・地理座標・電話番号

GIF準拠の課題

データモデルの機能

GIFのデータモデル準拠のルール

GIFのデータモデル準拠のルール

- ◆ 機能の3パターンそれぞれに準拠する内容を設定し、準拠にレベル感を持たせる。

GIF準拠LV1

- コアデータパーツレベルの準拠 (機能のパターン1)
形式 (コアデータパーツのみ)

GIF準拠LV2

- コアデータモデルレベルの準拠 (機能のパターン2)
項目のまとまり + 形式 (コアデータパーツ含)

GIF準拠LV2s

- コアデータモデルレベルの準拠(スキーマ) (機能のパターン3)
技術的なスキーマの情報 + 形式

* コアデータパーツ：日付時刻・住所・郵便番号・地理座標・電話番号

GIFのデータモデル準拠の確認方法

- ◆ データモデル準拠の確認方法 → 必要なツールの機能は2種類

- GIF準拠LV1

形式（コアデータパーツのみ）

想定確認方法

① パーツ確認

- GIF準拠LV2

項目のまとめり

+ 形式（コアデータパーツ含）

② 項目有無確認

① パーツ確認

- GIF準拠LV2s

項目のまとめり + まとめりの階層構造位置情報

+ 形式

スキーマ

① パーツ確認

GIFのデータモデル準拠の確認タイミング

◆ GIFの準拠確認ツール

- 設計段階：準拠確認EXCEL（仮）にて、準拠有無を確認
- 実データ：実際のデータをツールを利用して準拠有無を確認

★設計段階で準拠の確認

準拠確認EXCEL

★評価・受入段階で準拠の最終確認

実データ

準拠確認ツール

準拠の確認結果

【補足】GIF準拠LV2 の考え方

- ◆ 「GIF準拠LV2」の「項目のまとまり」の考え方
 - 項目の必須・任意の情報（多重度）のみを、データ構造を無視して厳守していること。
→つまり、項目の有無、多重度を判定する（データ構造は無視）

コアデータモデル：個人の場合

個人：必須パターン1
のコアデータモデル

個人：必須パターン4
のコアデータモデル

個人：必須パターン2
のコアデータモデル

個人：必須パターン5
のコアデータモデル

個人：必須パターン3
のコアデータモデル



5パターンすべての有無、
多重度の判定を実施

【参考】GIF準拠LV1

- ◆ 日付時刻・住所・郵便番号・地理座標・電話番号を扱う項目が、コアデータパーツの内容に準拠しているか
- ◆ 例) 日付の場合



データ側の項目定義に、どの項目がコアデータパーツの対象項目なのか指定が必要

【参考】GIF準拠LV2

- ◆ 必須項目が対象に存在するか確認
 - 階層構造は意識しないで確認

◆ 例1) 別データモデルのデータに対して確認

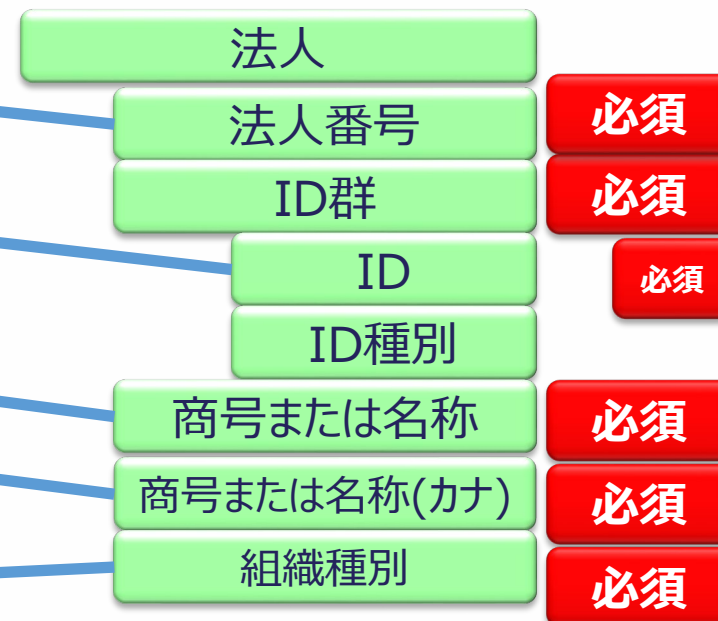
階層構造のデータ



階層構造のデータ



対応項目なし



下記パターン1では
準拠していない！

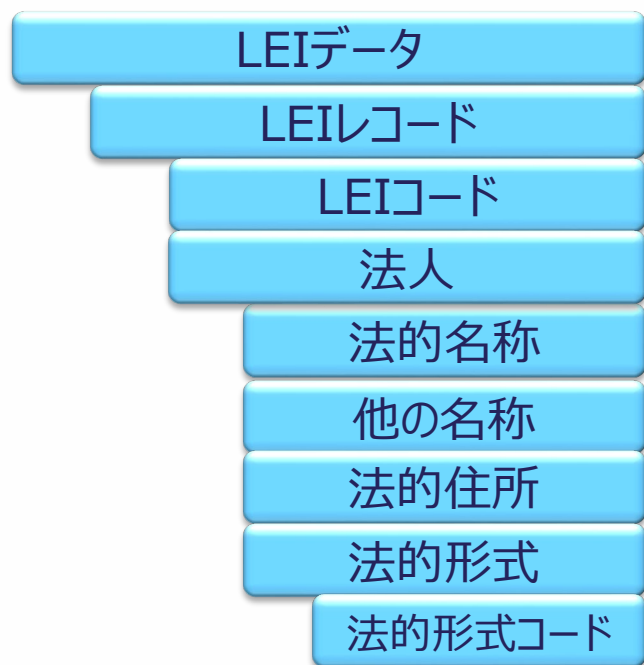
注) 形式は合っている前提、上記の図はイメージです。

【参考】GIF準拠LV2

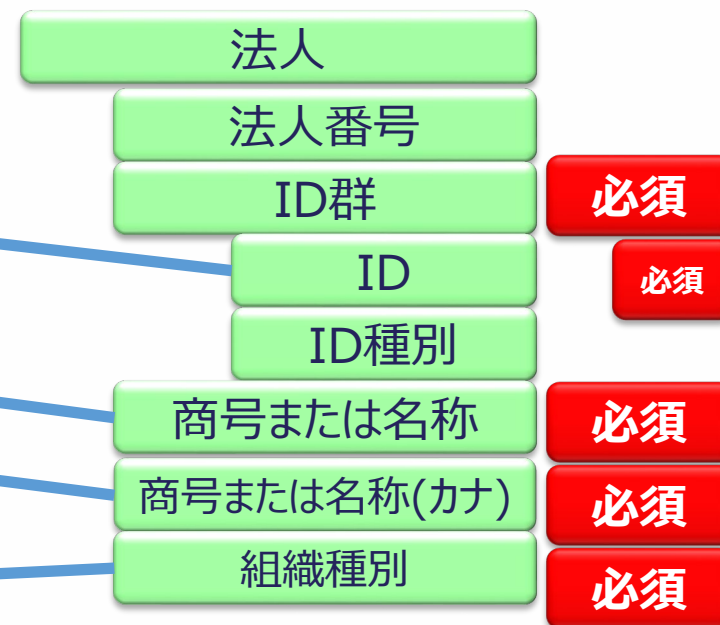
◆ 例2) 別データモデルのデータに対して確認

下記パターン2では
準拠している！！

階層構造のデータ



階層構造のデータ

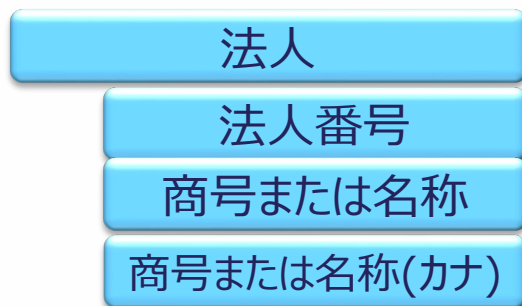


LEIデータ側の項目定義に、どの項目
が対応するかの情報が必要

【参考】GIF準拠LV2s

◆ データの階層構造が同じか！！

階層構造のデータ



技術的な
スキーマの情報

スキーマ検証で確認が可能

上記の場合は
準拠していない

階層構造のデータ



IPA